

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	12-116	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The raising of minimum alcohol prices in Saskatchewan, Canada: impacts on consumption and implications for public health. カナダ、サスカчевワン州におけるアルコール最安値の上昇：消費への影響と公衆衛生的意義		
<b>執筆者</b>		
Stockwell T, Zhao J, Giesbrecht N, Macdonald S, Thomas G, Wettlaufer A.		
<b>掲載誌</b>		
Am J Public Health. 2012 Dec;102(12):e103-10.		
<b>キーワード</b>		
アルコール、価格、消費		
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> カナダ、サスカчевワン州におけるアルコール最安値の上昇とそれに続くアルコール消費に与える影響について調べる		
<b>方法：</b> 介入前後の各 26 期間において、サスカчевワン州政府アルコール専売組合からのアルコールの売上げ及び価格のデータの ARIMA(自己回帰和分移動平均モデル)の時系列解析を行った。		
<b>結果：</b> 最安値が 10%上昇すると、ビールで 10.06%、蒸留酒で 5.87%、ワインで 4.58%、すべての飲料を合わせて 8.43%、消費が有意に減少した。氷で冷やしたアルコール飲料は 13.2%、カクテルは 21.3%、リキュールは 5.3%、消費が有意に減少した。主な店内販売(例;バーやレストラン)よりも純粋な店外販売(例;酒類小売店)の方で影響が大きかった。強いビールとワインの消費が最も減少した。最安値が 10%上昇すると、弱いビールの消費は 8.17%減少したのに対し、強いビール(アルコール濃度 6.5%以上)は 22%減少した。隣州のアルバータ州は介入前後でアルコール消費に変化はなかった。		
<b>結論：</b> 最安値の設定は、有害なアルコール消費と関連する公衆衛生的な問題を減少させる可能性がある戦略である。飲酒のアルコール含有割合を反映した価格設定がより低いアルコール含有飲料の消費へ転じる可能性がある。		